

公開市民フォーラム

メインシンポジウム

「東日本大震災からの復旧・復興を考える」

東日本大震災が起こってから既に半年以上が経過しました。被災地の復興計画がそれぞれに事業実施されようとしているなかで、これまでの復旧・復興過程を検証し、一日も早い被災地、日本の立ち直りを促すことは、学際学会である我々への重要な要請です。

当シンポジウムでは、工学系、社会科学系のアカデミズム専門家、行政の実務家を参集して、今後の計画実行に求められる適切な政策手段について議論を深めようとするものです。

市民の皆様の積極的な参加をお待ちしております。



日時 2011年 12月10日(土)

15:40 ~ 18:10

場所 名城大学天白キャンパス

共通講義棟北 1階 101 講義室

名古屋市天白区塩釜口 1-501

地下鉄鶴舞線「塩釜口」駅下車1番出口



シンポジウム・スケジュール

15:40~15:45 コーディネーター 相羽康郎 (東北芸術工科大学教授)

趣旨説明 石坂公一 (東北大学教授)

15:45~16:40 パネリスト

脇坂隆一 (東北地方整備局建政部都市調整官) : 東北3県の復興計画

鈴木浩 (福島大学名誉教授) : 女川町の復興計画策定

島田明夫 (東北大学教授) : 国のリスク管理と産業振興のあり方

高田光雄 (京都大学教授) : 神戸大震災からみた主要事業のあり方

中川雅之 (日本大学教授) : 復興計画のミクロ経済学的課題

16:40~17:05 公営住宅とその他の住宅供給方策

17:05~17:30 高台移転の条件

17:30~17:55 計画手法・事業のあり方

17:55~18:10 総括